



乳房炎検査について

こんにちは！ぐんま酪農指導部です。連日の猛暑で人間も牛も、健康管理には一層の注意が必要です。

農林水産省の調査によりますと、昨年(令和6年)の夏季には、農作業中に熱中症によって救急搬送されたのは2,322人と過去5年間で比較すると最多の数字となっているそうです。

こまめな休憩と水分・塩分補給を心がけてください。

さて、そんな暑さが続く中、牛も体力を消耗しています。ぐんま酪農管内もバルク乳の体細胞増加や乳房炎の診療依頼が増加しています。そこで、今回は、指導部で行っている乳房炎検査についてご紹介したいと思います。

私たちが行っている乳房炎検査は、乳房炎罹患乳房から採材した乳汁を培養し、細菌を同定し、場合によっては感受性試験を行い、どの抗生物質が効果あるか検査を行っています。他にもバルク乳検査も行います。バルク乳検査は定期的に継続して実施することで、搾乳衛生や洗浄システム、牛群の乳房炎リスクを評価することができます。

興味のある方は、ぐんま酪農までお問い合わせ下さい。

① 乳汁の採材方法と注意点



採材時は手袋をして下さい。



採材は搾乳後の方がコンタミは少ないです。搾乳前に採材する時は、必ず前搾りを5回以上行った後の乳汁を採取してください。



乳頭・乳頭口をふき取り。



滅菌されたサンプル容器に乳汁を半分ほど入れてください。



採材後はディッピングを行ってください。



採材後サンプル容器に氏名・検体番号を記入し、滅容器は冷蔵して持ってきてください。

② 乳房炎原因菌と対策

	原因菌	感染起源	特徴
伝染性細菌 (搾乳者やミルカーを介して伝搬する菌)	黄色ブドウ球菌(SA)	感染乳房・乳頭口	慢性乳房炎の原因。最後搾乳で感染拡大を防ぐ。若牛は乾乳期治療で良くなる(50%)事も。
	無乳性レンサ球菌	感染乳房	発熱・乳量低下。最後搾乳で感染拡大を防ぐ。
	コリネバクテリウム	感染乳房	搾乳後の乳頭消毒不良でおこる。
	マイコプラズマ	感染乳房・呼吸器	突発的な流行をおこす。難治性。
環境性細菌	環境性ブドウ球菌(CNS)	乳頭皮膚、毛	乳頭皮膚に常在する。搾乳手順や衛生管理に問題があると検出。
	環境性レンサ球菌(OS)	感染乳房、糞	搾乳手順や衛生管理に問題があると検出。ウベリス菌を含む。
	減乳性レンサ球菌	感染乳房	搾乳手順に問題があると検出。体細胞が高く持続
	大腸菌群	糞、おがくず等	クレブシエラ菌を含む。乳頭のふき取り、牛床敷料汚染に問題があると検出。
	緑膿菌	汚染水、水まわり	搾乳機器の汚染や衛生管理に問題があると検出。難治性。抗生物質効かない。
	真菌・カビ・酵母	汚染敷料・搾乳器	抗生物質効かない。抗生物質乱用でも発生。
	ツルペレラピオゲネス	イエバエ等	化膿性乳汁を排出、夏季に発生する。難治性。

③ 抗生物質感受性試験と休薬期間

抗菌薬	主な乳房炎軟膏	食用禁止期間／乳出荷禁止期間
ペニシリン(P)・カナマイシン複合	ニューサルマイ S	11日／96 時間
	ハイポリ S	7日／108 時間
	タイニーPK	7日／96 時間
セファゾリン(CZ)	セファメジン Z	3日／60 時間
	セファメジン S	3日／72 時間
	セファメジン QR	3日／72 時間
セフトキシム(CXM)	セフトキシム L	2日／72 時間
	セフトキシム-M	2日／72 時間
	スペクトラゾール	2日／72 時間
オキシテトラサイクリン(TE)	オキシテトラサイクリン乳房炎軟膏	14日／144 時間
アンピシリン(AM)	該当する乳房炎軟膏はない	
ノルフロキサシン(NOR)	該当する乳房炎軟膏はない	
マルボフロキサシン(MAR)	該当する乳房炎軟膏はない	

※2025年8月現在の休薬期間です。

使用時は指示書に従って使用し、出荷前には必ず抗生物質検査してから出荷してください。

抗生物質は近年、薬剤耐性菌の問題から種類が減少しています。“乳房炎にしない”搾乳を心がけてください。

検査料金について；細菌培養には24～48時間かかります。

細菌検査・バルク乳検査；700円 ⇒乳汁から細菌が生えるかどうかを検査します。

ウベリス同定検査；500円 ⇒乳汁から生えてきた細菌が連鎖球菌だったとき、ウベリスかどうかを検査します。

薬剤感受性検査；500円 ⇒生えてきた細菌にどの抗生物質がもっとも効果があるかを検査します。

ここがいいね！農場紹介



農場の入り口に消毒槽を設置するのは基本的な事です。
前橋市 S 牧場はいつ伺ってもきれいな消毒槽が設置してあります。



榛東村 K 牧場ではお産 Box が用意されています。
牽引用ロープ、保定ロープ、タオル、子牛用人工呼吸器等がきれいにしまわれています。



■ぐんま酪農のメールアドレスを入力せずに、メールが送れます。申請お願いいたします。

最後まで読んでいただきありがとうございました。これからも様々な情報を発信していこうと思いますので、ご意見やご感想をいただけると嬉しいです。

内容にご興味がある方は、下記に問合せ下さい。

ぐんま酪農業協同組合 指導部

住所:前橋市二之宮 1448

Tel;027-266-7733

Mail;yoshida.r@gunraku-portal.or.jp